



「第21回小竹の森音楽祭」を終えて

副校長 井上 淳

平成5年度から続いてきた「小竹の森音楽祭」は、昨年度の20回目を節目に「新生 小竹の森音楽祭」として今年も盛大に行われ、大きな拍手の中、幕を閉じました。本校児童をはじめ、卒業生、保護者の方々等、各団体の皆様が日頃の練習の成果を發揮し、素晴らしい演奏を披露してくれました。また、

「子供たちのふるさとづくり」

「世代間の交流を深める」

「音楽の感動を味わい、喜びをわかち合う」

というテーマのもと、今年も会場の設営から警備に至るまで、小竹町や小竹小学校にかかわる皆様が、しっかりとした協力体制のもと、音楽祭を作り上げました。

今までの伝統を継承しながら、新しい風を送り込むことは、まさに「挑戦」です。たしかに、伝統を守り続けることは大切ですし、それだけでも難しいことです。しかし、地域・保護者・児童・学校は、年々少しずつですが様変わりします。ですから、今いる人間が、これからの音楽祭の円滑な継続のために体制のあり方を考え、よりよいものに改善していかなければなりません。そんな中、PTAのスタッフの皆様が、素敵な音楽祭になるよう、放課後遅くまで仕事をされ、当日は、関係者への連絡・調整、会場準備、リハーサルの管理、舞台裏での動き等をしてくださり、こうして今年度の「小竹の森音楽祭」が開催されたのです。ありがとうございました。

音楽祭に限らず、現状に満足だけをしてしまうと、成長は止まります。人は何事に対しても、常に向上心を持ち、「挑戦」することを忘れてはならないことを「第21回 小竹の森音楽祭」が教えてくれました。

これからも、様々な活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



「練馬区いじめ撲滅宣言」の実施のお知らせ

昨今、いじめにより児童・生徒が自ら命を絶つといった痛ましい事件が発生していることは、極めて遺憾であり、深刻に受け止めなければなりません。

いじめは、決して許されないことであり、大人一人一人が、改めてこの問題の重大性を認識し、いじめの兆候をいち早く把握し、迅速に対応する必要があります。

練馬区では、いじめをなくし、子供たちが明るく楽しい生活が送れるように、子供たちがいじめについて考え、防止する気持をはぐくむことをねらいとした『練馬区いじめ撲滅宣言』の実施に取り組みます。本校でも、校長からいじめについての講話をはじめ、実態アンケートを行ったり、各学級でいじめに関する指導をしたり、児童会によるいじめ防止運動を実施したりします。ご家庭でも、いじめ一掃することを念頭におき、お子様と話す機会を設けていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。